

月刊 地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.112 2004. 1

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

リサイクルデザイン・アンケートから

検証 あなたのエコ度は？



- 教えて、聞かせて
お願い、中田市長！びん入りの牛乳を給食に出してください ----- P3
- 今月のリサイクルデザイナー ----- P6
- ただいま子育て奮闘中 お菓子問題・コラム リサイクルこぼれ話 ----- P7
- 読者の声・環境絵日記 ----- P8

検証 あなたのエコ度は？

隣は何をする人ぞ、ではないですが、自分がリサイクルにちょっと興味を持つようになると、周囲の人たちのエコライフにも関心が向くものです。そこで過日、本誌リサイクルデザイン読者のみなさんを対象にアンケートを取らせていただきました。暮らしのなかで何を心がけ、何には目をつぶっているか、どんな工夫をしているか、どんな働きかけをしているか……。それぞれの暮らしがりが浮き彫りになりました。この結果を参考に、あなたも自分のエコ度をチェックしてみたいはいかがですか。

回答者全員が 環境に 関心あり

※ アンケートには、サポーターを含む読者73名から回答をいただきました。初めの質問は「あなたは日常生活の中で、環境を考えることを何かやっていますか」……。結果は全員がイエス。本誌に興味を持って下さっているんだから当然、とも思えますが、すべてが実行者だったなんてうれしい発見です。

具体的にはどんなことに取り組んでいるのでしょうか。細かな例をあげてたずねてみました。

※リサイクルデザインサポーターには、どなたでもお気軽にご登録いただけます。登録方法は8ページをご覧ください。

注・少数第1位を四捨五入
回答総数73人

カン、びん、ペットボトルは必ずリサイクルする

70人 (96%)

照明をつけっぱなしにしない

66人 (90%)

歯みがきの時、水を出しっぱなしにしない

65人 (89%)

近くに行く時は、徒歩や自転車で行く

49人 (67%)

冷暖房はできるだけ使わない

49人 (67%)

食器等の油はふき取ってから洗う

48人 (66%)

レジ袋は断る

46人 (63%)

再生紙やエコマークのついた製品を買うようにしている

43人 (59%)

冷房は室温28度、暖房は18度くらいを目安にしている

34人 (47%)

家族旅行はドライブでなく、電車やバスを使う

22人 (30%)

塩ビ系のプラスチック製品は買わない

15人 (21%)

結果から、どんな傾向が読み取れるでしょうか。資源となるカン、びん、ペットボトルなどをリサイクルしている人は96%と、すでにかなり浸透しているようです。電気や水などの節減も小まめに気をつけているようですが、ちょっと面倒なこと（歩いたり、暑さ寒さに耐えたり、食器を洗う前にふいたり、マイバッグを持ち歩くなど）は少し敬遠されがち。つい何も考えずクルマに頼ってしまったり、買い物をするときに包装材のことにまで気が回らなかったりするようです。処理に問題の残る塩ビ系のプラスチック製品を「買わない」という人は、環境に関心があるサポーターの中でも5人にひとりという低い結果になりました。いつものやり方を変えるには、強い決意が必要なのでしょう。

自由に書き込んでいただいた欄には、さすが！と感心させられるエコライフの工夫が多数寄せられました。その一部をご紹介します。

- 外出時には水筒を持参する
- 環境への配慮に熱心な会社の製品を買う
- 洗たくの排水でトイレの汚物を流す
- 電池は充電して使えるものになっている
- 掃除機でなくほうきを使う
- 出がらしのお茶の葉やコーヒーの粉を猫よけに庭にまいている
- マイはしを持ち歩く
- 洗車はめったにしない（水と洗剤を節減するため）
- 自家用車をやめた
- 聞けなくなったカセットテープを引きだし、編んでタワシとして使う
- 紙類のごみはお風呂（五右衛門風呂）で燃やし、野菜のごみはカラカラに干して燃やす。野菜以外の台所から出る生ごみは庭の落ち葉と一緒に重ね、食事の残りは塩分をとって犬、猫にエサとしてやる。すると、うちから出るごみの大半はビニール類になった。

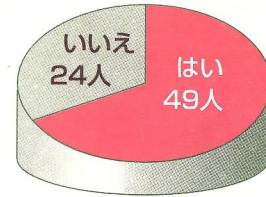
質問

環境を考えること、具体的にはあなたは何をしていますか？

質問

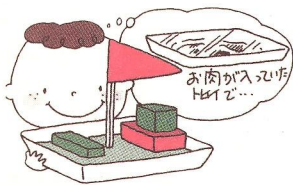
商品を買うときに、容器のリサイクルを考えて選びますか？

気をつけている人、そうでない人の割合がほぼ2対1という結果です。



気をつけている人は、次のような点に着目していました。

※子どもの工作に
使えるかどうか



※牛乳やビールは
びん入りを選ぶ



※野菜は
バラ売りを
探して買う



※行楽地へのお弁当箱として
使えるかどうか

(囲みの“牛乳パックを
お弁当箱に”もご参照
ください)



そして、リサイクルを特に気にせず買い物をする理由には、
こんな本音が表れていました。

●懸命に分別したって、
本当にリサイクルさ
れるのか不安



●どうしても値段や品物
の質自体や好みに関心
が向くので、リサイク
ルを重視できない



●値段ばかりが気になって、
容器のことなど頭はない



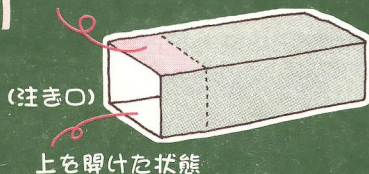
●よく利用する店や、買う
物は限られてしまうので、
あまり選ぶ余地がない

安いものに引かれる消費者の気持ちも、よくわかります。しかし、左記の“不安”には、自信をもってお答えします。リサイクルはきちんと行われています。集められた資源となるものが、リサイクルされずに放置されたりごみとして処分されることはありませんから、どうぞご安心下さい。

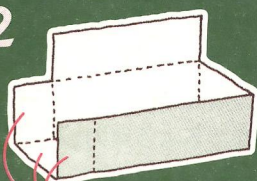
牛乳パックをお弁当箱に

小、中学生のお子さんをお持ちの方は、学校行事の際に「使い捨ての弁当箱」を指定されることがありませんか？修学旅行や臨海・林間学校に行く場合、洗う時間や場所が取れないなどの理由でそうなるようですが、そんな時にオススメなのが牛乳パックを利用したお弁当箱です。食べ終わったらたんで持ち帰り、洗ってリサイクルに出せるし、キャンプの時は、食べた後のパックを開いてまな板代わりに使えます。ただし、汁気の多い物には向きません。おにぎりやサンドイッチが最適。

1 この部分を切り取る

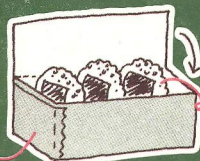


2



この三面を内側へ
折り込んでテープで
しゅがし止める

3



開じればふたになる

テープ

お肉やびんと入れて

最後に

“ごみの減量化とリサイクル”と題した横浜シティフォーラムが、この秋、市内各地で開催されました。11月18日に都筑公会堂で行われた北部ブロック対象の回では、中田市長と環境コンサルタントのペオ・エクベリさんが対談。そのなかで、市長は自分の家庭でのリサイクルについて「我が家では、子どもたちが誕生日プレゼントをもらったとき、ビリビリッと包装紙を破る、なんていうことはありません。嬉しいからすぐにでも開けたいでしょうけど、ていねいにテープをはがし、きちんとたたんでとっておきます。誰が言わなくても、もう、そういうものだと思っているんですね」と語りました。ペオさんは生まれ故郷スウェーデンでの徹底的な環境教育や社会システムについて語り「エコロジーというのは、語源をたどればギリシャ語で“うち(家)について知ること”という意味です。うちに何が入ってきて何が出ていくのかわかることから、エコロジーは始まります。どうかみなさん、自分のうちのごみを知るために、出す前に量る、を実行して下さい」と締めくくりました。まずはうちについて知ること、それがエコロジーの第一歩なんですね。あなたのエコ度、いかがですか？

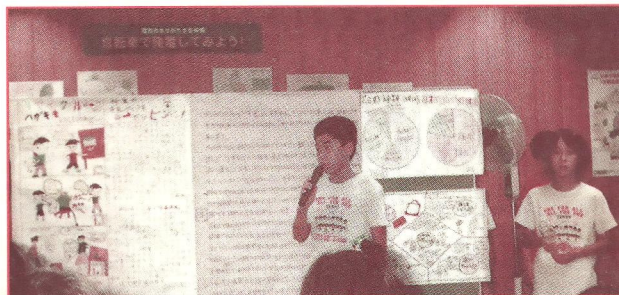


横浜市旭区

横浜市立善部小学校 5年生エコクラブ

リサイクルに取り組むうち、みずからが“リサイクルよりリユースだ”と気づき、大人たちへの働きかけを続けている子どもたちがあると聞いて訪ねてみました。彼らが求めてやまないのは、びん入りの牛乳でした。

お願い、中田市長！
びん入りの牛乳を
給食に出してください



8月20、21日にあった“子ども霞が関見学デー”に参加し、環境問題をテーマにした環境劇を披露しました。環境に良い家族と悪い家族を買い物のシーンで表現。牛乳びんにもスポットを当てました。

4年生の時からずっと

5年生の有志40人ほどが参加するエコクラブ“ブルーアースキーパーズ”は、谷口英幸先生と保護者のあたたかいサポートのもと、さまざまな活動を行っています。活動は、毎週月曜日と金曜日の放課後。6つのグループに分かれ、地域のごみ拾い、環境に注目してもらうためのポスター作り、バザー、ユニセフへの寄付、コンポストへの取り組みなどを計画、実行しています。なかでも今回注目したのは、ほかでは例を見ない“牛乳びんチーム”です。

きっかけは4年生の時、環境省が募集

した「こどもエコクラブ」の“かべ新聞コンクール”で谷口先生の学級の作品がみごと神奈川県代表に選ばれ、3月に長崎で行われた全国大会へ参加したこと。そこで、大阪や青森、奈良、鳥取、石川、長野など遠い町で暮らす子どもたちと知りあい、よその町には給食に紙パックでなくびん入りの牛乳を使っているところもある、ということを知ったのです。

実際、全国大会以前に牛乳パックか



ら手すきの和紙作りをしてみた結果、結局エネルギーをかなり消費してしまううえ、捨てる部分も出てしまうということに彼らは気づいていました。そこで取り組んだのが、横浜市でも給食の牛乳を紙パックでなくびん入りにしようという活動です。学年が上がった春からは、クラスの枠をこえ自主的にエコクラブを作り活動しています。

ブルーアースキーパーズから
リサイクルデザインに届いたファックス

今、ぼくたちの学校の給食で飲んでいる牛乳は紙パックに入っています。ぼくたちは給食の牛乳パックをびんに替えてもらいたいと考えています。しかし「一年生には重い」「割れたら危ない」などという意見がありました。今は軽量びんもあるし、割れないように気をつけることも大切だと思います。いろんな人にアンケートをとったところ、びんがいいという人があつとうてきに多かったし、今の大人たちはびんで育ってきたんだからぼくたちにもできないわけがないと思います。それに、ほかの県ではびんを使っていることが調査の結果わかりました。ごみを減らすためのリユースとして、ぼくたちの横浜でもぜひやってもらいたいと思います。

中田市長を感激させた思いやり

11月21日に泉公会堂で開かれた横浜シティフォーラムに参加した子どもたちは、中田市長を前に「給食の牛乳の紙パックをびんに替えてほしい。低学年には重くてたいへんというなら、ぼくらが手助けする」と発言。市長は「すばらしい発想。ものを大切にし、人をいたわる気持ちに発展している。大人の側も、そういう素直な声に応えるよう努力していく」と述べました。

だれも、簡単に目的が果たせるとは思っていません。しかし、市長への手紙を何度でも書こうとか、校長先生にもまたお願いしてみよう、など、地道な努力を続ける意志はしっかり

と育っています。忙しい谷口先生を助け、子どもたちの成長を見守ろうというお母さんたちの力も得つつ、可能性を信じて突き進んでほしいものです。彼らから、市内の子どもたちへのメッセージをあずかってきました。「この記事を読んだ人は、ぜひ自分の学校でもびん入り牛乳への取り組みをしてください。まず、善部小学校が横浜市の第一号になりたいけどね」

ちなみに、谷口先生が現在受け持っている6年生も“アースエンジェル”とい名のエコクラブを作り、アルゼンチンへの募金活動などを行っています。環境に、世界に視野を広げる子どもたちの成長がとても楽しみです。

「分別収集品目拡大モデル事業」開始1か月

30%以上の削減!

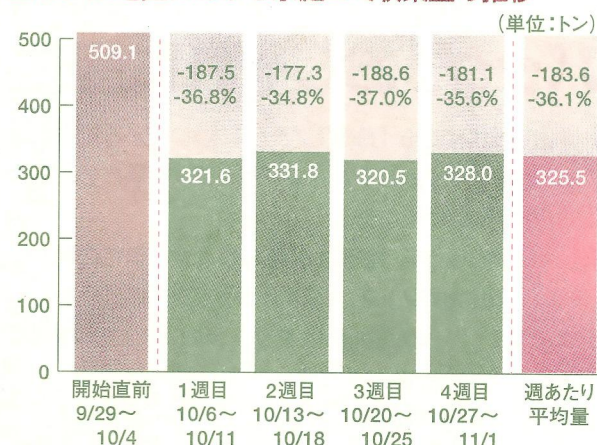
家庭ごみですでに

ヨコハマはG30

10月6日から各区のモデル地区で（全市で約4万世帯対象）、家庭ごみの減量・リサイクルを進めるため、分別収集の品目を拡大するモデル事業が始まっています。モデル事業では、いままでの分別品目に加えて「プラスチック製容器包装」「スプレー缶」「古紙」「古布」などを分別して出していただき、資源として再利用します。

分別収集品目拡大モデル地区では、10月6日から11月1日までの4週間のうち、家庭ごみ（週3回収集）の週あたりの平均量は約325.5トンで、モデル事業開始前の週あたりの収集量509.1トンと較べると、183.6トン減、割合にすると約30%以上のごみ減量となりました。

■モデル地区における家庭ゴミ収集量の推移



モデル地区住民の声

- 分別すると家庭ごみ（燃やすごみ）の分量が減ることが実感できた。
- プラスチック製容器包装の種類の多さに驚いている。
識別マークが無かったら分別は難しい。
- プラスチック製容器包装だけでなく、その他のプラスチック商品なども一緒に収集してほしい。
- なるべく包装していない商品や詰め替えができるものを選んで買うなど、消費者も意識改革が必要である。

分別に手間がかかるが、環境のためには進んで取り組むべきである、といった協力的なご意見も多く、減量・リサイクルに対する市民の関心の高さがうかがえます。

「剪定枝チップ機」貸出事業が12月1日から始まりました

- 貸出対象 横浜市民
- 貸出条件 チップ化したものを土壌改良材等として、ご自分で活用し、資源化すること
- 申込受付開始 平成15年12月1日（月）
- 申込方法 各区の環境事業局事務所に電話で申込む（8:00～16:30）
- 貸出方法 各区の環境事業局事務所がチップ機を各家庭に運搬し、引き取りを行う
- 貸出期間 概ね4日間以内

無料で貸し出す剪定枝チップ機は2種類

- 中型ガソリン式…ガソリンエンジン式で処理能力が高いことが特徴です。
（最大処理径4.5cm）
- 小型電気式…家庭用電源で使用できる手軽さが特徴で、持ち運びも容易です。
（最大処理径3cm）

※各事務所には、中型機1台、小型機1台を用意しています。

今までごみとして焼却処分されていた家庭から出る剪定枝（庭木などの枝や葉）を粉碎する「剪定枝チップ機」の市民への無料貸出事業が始まりました。

粉碎しチップ化した枝葉は、土壌改良材や根覆い材に活用できます。

環境事業局各区事務所

鶴見	502-5383	金沢	781-3375
神奈川	441-0871	港北	401-3133
西	241-9773	緑	983-7611
中	621-6952	青葉	975-0025
南	741-3077	都筑	941-7914
港南	832-0135	戸塚	824-2580
保土ケ谷	742-3715	栄	891-9200
旭	953-4811	泉	803-5191
磯子	761-5331	瀬谷	364-0561

よこはま白書



ごみ収集車が地域の防犯活動に協力します。 「みんなで街を守ろう～地域防犯出発式」

日々ごみ収集のため地域を走行し、市民生活に密着している、ごみ収集車・ごみ収集作業員による地域防犯活動について、神奈川県警察と横浜市環境事業局は「地域安全に関する協定」を締結しました。11月27日には、末綱神奈川県警察本部長、中田横浜市長出席のもと「みんなで街を守ろう～地域防犯出発式」が開催されました。

この協定は、警察と環境事業局が地域住民を犯罪等から守るため、相互に協力し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現をめざすことを目的としています。横浜市内には、約54,000箇所のごみ集積場所が設置されており、約500台のごみ収集車が収集を行っています。



防犯活動の概要

横浜市内を走行している収集車と作業員が…

- ・市民の皆さんの防犯意識向上や犯罪抑止を目指して、収集車のスピーカーから防犯広報を放送し、車体には防犯をアピールするステッカーを掲示します。
- ・犯罪がおきてしまった場合に、一刻も早く、市民の皆さんに安心して頂くことをめざして、事件発生時には警察から情報提供を受け、作業中に発見した犯罪関連情報を警察に通報します。



ヨコハマはG30 「マイバッグ」おしゃれに誕生

横浜市のごみ減量・リサイクル「G30プラン」を応援するため、横浜元町のバッグメーカー「キタムラ」が「マイバッグ」を制作し、その発表会が11月26日に行われました。

バッグは縦36cm、横25cm。絵柄は水色のリボンと魚の2種類。国際ブランド「ミナ・ペルホネン」を主宰するファッションデザイナー皆川明さんのデザインで、バッグ正面にはキタムラの「K」のマーク、後ろ面には皆川さんのサインがプリントされ、内側は防水仕様で、内ポケットにはG30のロゴがプリントされています。

皆川さんは「リボンは波を表わすとともに「自然に約束」という思いを込めた。魚は横浜のシンボルである海をイメージした。」と語り、中田市長からは「このバッグをおしゃれに使いこなし、スーパーなどでレジ袋や紙袋をもらわないようにしてほしい」と市民への呼びかけがありました。



販売は元町店、そごう横浜店、三越横浜店、ランドマークの各キタムラショップ。価格は2,500円。

○リサイクル掲示板○

センターリサイクル

●1月11日(日)

・かながわセンターリサイクル
神奈川区 反町公園
(神奈川区役所側)

時間：午前10:00～午後1:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ エコライフかながわ
TEL 413-3196

●1月18日(日)

・旭区センターリサイクル
環境事業局 旭工場内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ 環境事業局旭事務所
TEL 953-4811



好奇心と実行力が生んだ、 趣味豊富なリサイクルデザイナー

株式会社 イーシージェイ
代表取締役 重成 敏夫さん

戸塚区の住宅地の中にある事務所を訪れると、そこは床が御影石、壁は丸太とバーナーで焼きめを入れた板でできているロッジ風。そこへ髪を結び、不精で伸ばしたとは思えないりっぱなヒゲをたくわえた重成さんが出迎えてくれました。「この内装はすべて廃材なんだよ。常務と2人で2週間ぐらいで作ったんだ。もったいなくて取っておいた物を使ってね」

紆余曲折しながら結局は父親の仕事を継ぐことになった、と話す重成さんの仕事は、家屋の解体作業とそのさいに出た廃棄物の処理とリサイクルです。男ばかりの5人兄弟の末っ子としてのびのびと育てられた重成さんは26歳でこの仕事に就くまでどんな生活を送っていたのでしょうか？今回はリサイクルデザイナーとなるまでのお話を伺いました。

プロフィール

1948年（昭和23年）生まれ。横浜出身。妻と大学に通う20歳の娘との3人暮らし。休日の朝には自慢のバスタ料理を家族に振る舞い、スーパー銭湯でのアカスリでリフレッシュしている。好きなカラオケナンバーは越路吹雪と美空ひばり。歌っていると、その歌手が歌っている情景が目の前に浮かび上がるという。お酒が好きで毎晩の晩酌は欠かさないが、身体はいたって健康。それでも最近食事には気を遣っている。

オペラ歌手を目指して

「親が好きにさせてくれてたんだよね」
高校生のころは野球が好きで部活も野球部に入部。1年生からメンバーに入りピッチャーとして活躍していたのですが、上級生と折り合いが悪く部をやめることに。その後、何かしなければと奮起して興味のあったオペラ歌手を目指して勉強し、音楽学校に入学しました。

現在小学校で音楽を教える奥様と知り合ったのもそこでか。音楽学校は入るのが難しいと聞きますが？

「歌はまあどうにかなったけど、それまでピアノなんて触ったことがなかったから指が動かなくて。結局、入学する時に弾かなきゃいけないって覚えた曲を卒業まで弾いていた。ピアノは上手にならなかったんだね(笑)」卒業後はオペラで有名な藤原歌劇団

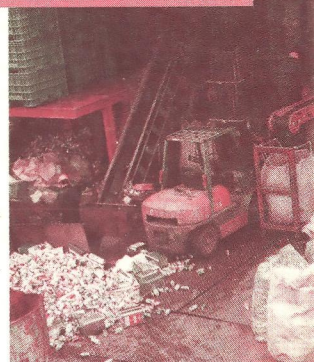


30代の頃

でバックコーラスのアルバイトや、音楽マネージャーなど音楽関係の仕事をしていました。しかし、経験を重ねていくうちに才能の限界を知り、その道を断念。そのころ流行りだしたファミリーレストランのコックとして働き始めました。ヒゲを伸ばしだしたのもそのころ。いろんなことに興味があり、そして実行力もあったようです。

あるときふと、トラックに乗って遠くに

行くような仕事がしたいなあと思った時に身近にあったのがダンボール回収をしていた家の車。そこからリサイクルデザイナーとしての道を歩むことになりました。



あれもこれもと夢はふくらむ

ここ2年ぐらいで後進も育ってきて少しずつ自分の時間も持てるようになってきたといいます。そんな重成さんがいま興味のあることはどんなことなのでしょう？

「昔は機械いじりが好きじゃなかったけど、最近仕事で使う車をもっと使い心地がよいようにと改造するのが好きになったんだ。ここをあしたら…あそこをこうしたら…っていろいろ考えて、それをうちの機

械で実践してみるのが楽しくて」

「仕事場の中には井戸も引いてあるし、そのうち廃材でお風呂も造りたい。宿泊施設も建てて、仕事の後に風呂に入って従業員とゆっくり酒を酌み交わしたりしたいね」

実体験を大事に思っている各国、各地のリサイクルの現場にも行ってみたいという重成さん。夢は大きくふくらんでいきそうです。

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレトペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい！愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレトペーパーだと大丈夫なの」(実話です)。

トイレトペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレトペーパー



★使ってびっくり

びっくり その2

手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレトペーパー（シングルで60m）の2倍以上の長さ（130m）です。「使っても使ってもなくなるんですね」との声も寄せられるほど（もちろんいつかはなくなるけど）。

注文受付は1ケース（48コ入＝6コ入りバック×8）より1ケース 3,360円（配送料込み）

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！（横浜市の支出命令書も使えます）

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

シングル芯なし130メートル1バック（6ロール）あたり価格420円

鶴田 由紀

プロフィール

● 鶴田由紀 訳書（共訳）に「生物多様性の危機」（ヴァンダナ・シヴァ著 明石書店）。「ただいま〜」は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。



お菓子問題



オマケ大好きナゴヤ人

ナゴヤに移住して、はや2年、当地で子どもを連れて外食をすると、レジでお菓子などをもらうことがあります。

ナゴヤはオマケ文化があり、喫茶店でコーヒーを注文しても、トーストとかピーナツがついてきます。子連れだと、キャンディや駄菓子をもらう確率が高い。何を隠そう、うちでは未だにアメ・ガム・グミ・キャラメルは禁止品目なので、このナゴヤ文化に結構困っています。

ご丁寧に、子どもに「はいどうぞ」と手渡してくれるので、親は大慌てで「いりません！」と断ることになります。当の子どもは、きょとんとしています。可哀想だな〜と我ながら思います。

アメなどを禁止にしているのは、ひとつには虫歯予防のため。それと添加物です。大抵のアメガム類は、ご存じのように着色料・香料をはじめとする添加物の固まりです。小さいうちはなるべく身体に取り込む化学物質を減ら

したいので、添加物の入ったお菓子は避けるようにしています。

幼稚園のお付き合い

しかし、幼稚園の友だちと遊ぶようになると、よそのお宅の食文化に従わざるを得なくなる。これはもう仕方ない。先日も、戦々恐々として友だちのうちを訪問し、出されたグミやアメを涙をのんで食べさせました。

当の子どもは別にどーってことなかったようで、それ以降食べたいとも何とも言わないのでホッと胸をなで下ろしたのですが、今のところは親の顔色を見て興味のないようなことを言っているだけかも知れません。年齢が上に行けば、より社会的な動物になっていくでしょうから、友達が旨そうに食べていれば、きっと旨いと思うでしょう。

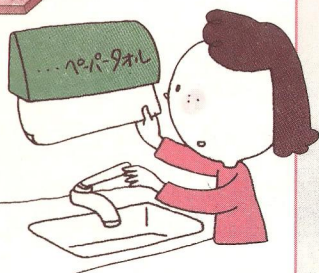
「子どもだまし」という言葉があり

ますが、子どもというのは軽視されているというか、美味しいものを食べさせなくていいと思われているというか、どうも子ども向けのお菓子は質の悪いものが多いように思います。

でも、包装にキャラクターを付けた安菓子をあてがっておけば良いというのは、それこそ子どもが可愛そう。美味しいものは誰だって美味しいと思うし、子どもこそ、身体に良いものを食べさせるべきだと思うのです。100%安全とは行かないまでも、少しでも有害なものを減らしたい。ナゴヤ文化と幼稚園文化の中で、悩みながら食の安全を追求する今日この頃であります。



このコラムでは、月刊リサイクルデザインの別冊として発行した「リサイクル今とむかし」に掲載しきれなかった「こぼれ話」を連載します。



環境にやさしい、の落とし穴

いつごろからでしょうか。まるで枕詞のようにして、様ざまなものに“環境にやさしい”がくっつくようになったのは。いわく“環境にやさしいクルマ”“環境にやさしい壁紙”“…エアコン”“…冷蔵庫”“…道路舗装材”“…おからで作った食べられるスプーン”“…紙皿”“…ペーパータオル”、数えあげればきりがありません。

確かに、環境への負荷をなるべく抑えるために新技術が採用されたり、再生資源を使用したり、解体・リサイクルしやすい構造になっているなどの新しい工夫はどれにもあるでしょう。素晴らしいアイデアに目を見張ることもあります。しかし、中にはよく考えてみると首をひねらざるを得ないものも。

わかりやすい例でいえば、最後に挙げた“ペーパータオル”です。デパートやオフィスのトイレに備え付けられていることが多いですね。“このペーパータオルは再生紙を使用した環境にやさしい製品です”などとうたっている手が出ている感じがしますが、ちょっと考えてみましょう。どうしても使用後にリサイクルできない究極の使い捨て紙といえば、トイレトーパーのみ、ではないでしょうか。これはどうしようもありません。ぜひ、再生紙100%のものを進んで利用したいところですが、ハンカチさえあれば不要なペーパータオルをさして、環境にやさしい、とはこれいかに。もちろん、うっかりハンカチを忘れてしまったときには助かりますが。キッチンで使うペーパータオルもありますが、本当に必要な場面（ふきんとか古新聞では代用できないの？）かどうか、一呼吸おいて考えてから使うようにしてはどうでしょう。ひとむかし前まで無かったこれらのものの多くは、基本的には“無くてもだいじょうぶ”なものなのでしょから。これからの私たちは環境にやさしい、地球に優しい、人に優しい……、そんな言葉のイメージにだまされないように、自分の頭でしっかり考えることが大切です。

アンケートに回答してくださった読者の方からお便りをいただきました。



ふろしきの絵
ペンネーム ヨボ 作

月刊リサイクルデザイン編集室 皆様
旭区在住 ペンネーム ヨボ

12月になり、寒さもきびしく、気ばかりが忙しい日々に入ってしまった。毎月楽しく『リサイクルデザイン』を読ませていただいています。このたびは、私のつたないアンケートの返答に対し、『ふろしき』を送って下さりありがとうございます。まさか、いただけるとは思っていませんでしたので、とてもうれしかったです。ふろしきは大好きなので、いろいろ工夫して楽しく使わせていただきます。それから『リサイクル今とむかし』も読ませていただきました。わかりやすく、きれいな仕上がりでした。私は39歳ですが、育ったのが、商店街。ザルを持ってうどん屋さん、うどん玉を買いに行き、食堂に大皿を持ってやきそばを盛って買ったり。肉屋にも、お皿を渡してお肉、コロッケetc…。玉子もザルだったなあ。マンガ貸店もありました。酒店の私の両親は、1升ビンの日本酒2本をきちんと、しっかりステキにヒモでゆわき、持ち運びにしっかりと、イキに見えていました。とてもなつかしく読ませてもらいました。ありがとうございます。この本、大切にします。そして、まね出来る事は、どんどんやらせてもらいます。とてもためになりました。この本に出会えてうれしいです。

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ

- 1.ご住所 2.お名前 3.電話番号 4.「リサイクルデザインサポーター申込希望」とご明記下さい。折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合

電話 045-316-4050/FAX 045-316-6050

Eメール mail@recycledesign.or.jp

●参加資格・条件

- 1.横浜市内にお住まいの個人および団体(資源集団回収実施団体・市民団体など)の方
- 2.私たちの活動をご理解、ご支援いただける方
- 3.ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
- 4.脱退は原則自由です
- 5.入会金や年会費はありません

環境絵日記

2003年第9回リサイクルデザインフォーラムの環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。



汲沢小学校 4年 佐藤 楓
8月13日 水曜日 天気 くもり
今日、G30新聞を書きました。
二学期が始まったら、校長先生にたのんで、門にはりたいと思います。
そうしたら、みんなに読んでもらって、みんなにG30行動をしてほしいです。この新聞を書くのと、私もG30行動がんばるゾという感じがしてきました。
新聞をいろいろな所にはって、いろいろな人に、G30行動をしてほしいな、と思いました。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
山結くん

で
古紙をしばればまるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 ●横浜市青葉区・緑区・中区・都筑区・神奈川区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックシヨップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●エコロジーシヨップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦) ●おおくち通商店街事務所
販売してくださるお店募集中!



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2003年11月現在
日経 11/27

品 名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新 聞	*** 0円	6~6.5円
雑 誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

2003年は、月刊リサイクルデザイン100号の発行にはじまり、「横浜G30行動宣言」を特集、その後特別号を発行、これは通常の配布方法とは異なる形での発行でしたが、たくさんの方に読んでいただきました。（特別号）を読んでみたい方は、組合までご連絡を。また、第1回サポーターミーティングを開き読者の方と直接お会いし、ご意見を聞く機会にも恵まれました。（次回2月を開催予定）いくつかの区のイベントにも参加し、「レッツチャレンジ！ 分別体験」を行い、これからの分別回収に向け親子で分別の体験をしてもらいました。興味を持ってくれるのは子どもたちで、ゲーム感覚で楽しんでくれました。30分並んで待っても「分別体験をしたい！」といううれしい言葉をもらいました。次回また分別体験を開催するときは、みなさんもうれしい言葉を送ってあげてください。

「リサイクル今とむかし」もおまたせしましたが、発売前から注文をいただきたううれしい悲鳴をあげていました。ただ今絶賛発売中！です。多くの人にぜひ読んでほしいと願っています。

2004年もさまざまな情報をお届けしたいと思います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

編集室から

「リサイクル教室」出前講師を派遣します

「新聞はトイレトペーパーに生まれ変わるの？」「いつからリサイクルは始まったの？」「リサイクル教室」では出前講師が、さまざまなギモンについて話をします。リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050

出前講師派遣状況

日時	対象
10/15	栄区 飯島小学校 5年生
10/18	緑区 環境事業推進委員
10/24	青葉区 環境事業推進委員
10/30	青葉区 藤が丘小学校 PTA
11/5	港南区 桜岡小学校 4年生
11/6	自治労横浜教育支部女性部
11/7	港南区 日下小学校 4年生

「リサイクル今とむかし」リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊「リサイクル 今とむかし」を発刊します。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

好評発売中！



価 格 350円 (税込)

フルカラー24頁

※送料は別料金になります

詳しいことは月刊リサイクルデザイン編集室まで
TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

● マリンスポーツデスク・リップル（鶴見日新ビル2F） ● グリーンバザール（南区六ツ川） ● ブックショップふれあい戸塚店（ダイエー横） ● 大船店 ● 地酒 篠原屋（港北区篠原） ● 神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ● 損保ジャパン横浜支店 ● 東京ガス環境エネルギー館 ● マルエツ井土ヶ谷店 ● 大倉山店 ● 相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ● マイカル天王町サティ店 ● ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ● まじょらむ（港北区綱島） ● カフェ杜（港北区日吉） ● きまま舎（緑区霧が丘） ● うどんカフェ（青葉区こどもの国） ● 横浜国際ホテル（西区南幸） ● さくら歯科クリニック（オーケー港北ニュータウン店2F） ● リサイクルショップ「トロワの森」 ● 横浜国立大学生協同組合大会館店・工学部店 ● 神奈川県中小企業団体中央会（中区尾上町）

月刊 リサイクルデザイン No.112

発行日：2003年12月25日

発行人：秋元康男

編集人：工藤健一

編集室：戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

制作：(企)エコ・アド

印刷：オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK（大豆インク）を使用しています。

